

令和6年度 事務事業評価シート（１）

[令和5年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	舩松職能訓練センター管理事業			事業番号	015-015
担当部署名	産業振興	局	産業戦略	部	地域産業課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—	—	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.5
			有	取組	女性、若者、高齢者、障害者など求職者に応じた就労支援		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画				
3	事業開始年度	昭和 63 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	出先機関（舩松職能訓練センター）			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	自立通所が可能で、働く意欲のある心身障害者。	対象数	単位	
			9	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	企業への就労が困難な心身障害者に対し、一定の職業的訓練（職業能力の開発・技能養成等）と生活指導を行うことを目的とする舩松職能訓練センターの施設維持管理を行う。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	堺市立舩松職能訓練センターの適切な維持管理			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）				
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	施設の適正運営						
	当該目標を設定した理由	適正な施設運営により、心身障害者に対して職業的訓練や生活指導を行うことができるため					
	目標に対する実績	施設の適正な維持管理					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	施設の無事故稼働日数	日	目標値	243	245	243	
			実績値	243	245		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	施設整備を適切に行うことにより、無事故で稼働できていることが評価できるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	目標値は年間日数-休館日（土、日、祝、12/29～1/3）					

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	舩松職能訓練センター管理事業	事業番号	015-015
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	1,972	1,411	2,963	2,093	1,713
財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（ ）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	1,972	1,411	2,963	2,093	1,713
14	人件費（b）	820	820	810	810	810
15	年間経費（c）=（a）+（b）	2,792	2,231	3,773	2,903	2,523

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R5	R6				R5	R6		
16	施設等修繕料	決算	378	378			決算			
		予算	500	500			予算			
	機械・機器等借上料	決算	1,190	1,190			決算			
		予算	893	893			予算			
	堺市立舩松職能訓練センター特殊建物等建築設備定期点検業務	決算	242	242			決算			
		予算	300	300			予算			
	消耗品費	決算	10	10			決算			
		予算	20	20			予算			
	舩松職能訓練センター周辺樹木剪定業務	決算	273	273			決算			
		予算	0	0			予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和4年度	令和5年度
	①	施設の無事故稼働日数	日	243	245
	②	上記①にかかる年間経費	千円	2,231	2,903
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	9,181	11,849
	備考（算出についての説明等）				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	施設管理者として、ソフト事業を実施する施設の職員と連絡を密に取っており、施設に不具合等が生じた際には速やかに連絡が入り、迅速に対応しているため、事故等を未然に防ぐことができています。 令和5年度においては、周辺樹木の剪定等が必要となったため前年度に比べ支出が増加したが、樹木によるインフラ設備の損傷等のリスクを防ぐことで、安全な施設運営を行うための管理をすることができた。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	本事業により施設の維持管理を行うことで、ソフト事業を実施する各関係機関が安全に障害者の職業的訓練等の機会を提供することができた。 今後も引き続き、関係機関と調整し、安全に施設利用ができるよう施設の維持管理に努める。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和5年度とした事業のみ記載）

必要性	■ 高い □ 低い	本事業では、心身障害者へ職業的訓練や生活指導などの就労支援を行うことで、地域住民のより自立した生活の実現に寄与していることから、必要性・有効性は高いと考える。
有効性	■ 高い □ 低い	